季節のフラワーエッセンス

scene 14　春、公園へ行こう！ ― 春の身近な植物とフラワーエッセンス ―

長い冬が終わり、ようやく春も本番を迎えます。ソメイヨシノの花の便りも、各地から聞こえてくる季節となりました。あたたかな陽気に誘われて、のんびり過ごしたい日もあるでしょう。そんな日は、近くの公園へ出かけてみませんか？

公園では、春の訪れの喜びを謳歌するように、さまざまな植物たちが花を咲かせています。その中には、フラワーエッセンスとして、私たちを支えてくれる花も見られます。フラワーエッセンスには、身近な植物から作られるものが少なくありません。この春、植物観察をして、そしてフラワーエッセンスを通して、毎日の生活に喜びを発見していきましょう。

東　昭史　Akihito Azuma

CHhom ハーブ・フラワーエッセンス講師

フラワーエッセンスだけでなく、野の花や薬草にも精通しており、このたび、由井寅子学長監修のもとホメオパシー出版より出版された「心と体にやさしい薬草入門」が好評を得ています。

春の身近な植物とフラワーエッセンス①

スピードウェル Speedwell　【和名】：オオイヌノフグリ

早春、明るい草地や斜面には、星々を散りばめたように小さな青い花が咲いています。名前はオオイヌノフグリ。この時期、身近な植物で最も印象的なものの一つではないでしょうか。でも、品のある可愛らしい花なのに、「犬の陰嚢（ふぐり／いんのう）」とは、ちょっとかわいそうな名前がつけられています。

その青い瞳のような花を、じっと見つめてみましょう。次第に気持ちが落ち着いて、冷静になってくるでしょう。さらに花へ意識を合わせてみましょう。そして、額の奥がひらけていく感覚を体験してみてください。そうです、オオイヌノフグリのエッセンス・スピードウェルは、眉間にある「第三の目」と呼ばれる直観の座と関係しているエッセンスなのです。

スピードウェルは、心の静けさを保ち、直観力を高めてくれます。高次の世界とつながり、ストレートにインスピレーションを受けられるように助けてくれます。コンポジットのユニフィケーション Unification（三位一体）にも含まれているエッセンスで、地に足をつけながらスピリチュアルな次元に自分を開いていくことを可能にするものです。

春の身近な植物とフラワーエッセンス②

レッド・クローバー Red Clover 【和名】：ムラサキツメクサ

もう少し暖かくなったら、子どもたちが遊ぶ公園の広場に行ってみましょう。足元に広がる草を見て下さい。あちこちで白花のクローバー、シロツメクサが生えているでしょう。何度も子どもたちに踏まれていますが、あまり気にならないようです。何せ、故郷の牧草地では、大きな牛や馬に踏まれていたくらいですから。

今度は広場のまわりの方、もう少し丈の高い草が生える場所に目を向けてみてください。そこには赤花のクローバー、ムラサキツメクサが見られるかもしれません。一名カウ・クローバー Cow Clover とも呼ばれ、牧草として牛や馬たちの好物なのですが、この花から作られるのがレッド・クローバーのエッセンスです。

レッド・クローバーは、自分をコントロールできなくなることを恐れ、感情表現を抑圧している人のエッセンスです。このような人たちは、のびのびと感情を表現すると、クローバーが動物たちに踏まれているように、自分も踏みつぶされてしまうのではないかと、心配しているのかもしれません。そして、だんだんと頭でっかちになり、理性的で冷たい人になっていきます。レッド・クローバーの花も、多くの花が一つに集まって頭のような形をしていますね。

レッド・クローバーのエッセンスは、抑圧した感情を表現することができるように後押ししてくれます。コンポジットのヤン Yang にも入っていて、右脳と左脳、男性性と女性性のバランスをとる働きをしています。

季節のフラワーエッセンスが好評連載中の東先生がホメオパシー出版から
本を出されました。「 心と体に優しい　薬草入門 」。ハーブティー好きにはおススメの本です。

心と体にやさしい

薬草入門

野の草花をとり入れた自然生活のすすめ

東　昭史 著／由井寅子 監修

定価　735 円（税込）

ホメオパシー出版株式会社 www.homoeopathy-books.co.jp

大好評
発売中

薬草の歴史から実用的な薬草の利用法まで丁寧に説明した、オールカラーの薬草入門。厳選した薬草を、日本のものと西洋のものに分けて写真入りで紹介。それぞれの特徴や用法を簡単につかむことができます。どの薬草がどんな症状に対応するかひとめでわかる、巻末の症状別一覧が嬉しい。